悪性転化した脂漏性角化症の臨床病理学的・ゲノム学的検討

１．研究の対象

2000 年 1 月～2026 年 9 月に当院を含む共同研究機関で悪性転化した脂漏性角化症と診断されて病理検体を採取された 18 歳以上の患者さん

２．研究の概要

研究期間： 所属機関の長の研究実施許可日～2028 年 12 月 31 日

研究目的： 悪性転化した脂漏性角化症の診断方法と治療方法を確立させるため、臨床的・病理学的・遺伝子学的な特徴を明らかにします。

研究方法： 研究対象者の診療録と病理検体を後向きに調査し、その情報・試料は大阪国際がんセンターに集められて解析されます。本研究は研究資金の提供を受けません。

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、皮疹の写真（顔面を除く）等

試料：病理検体

４．外部への試料・情報の提供

試料・情報の提供は、氏名などの個人を識別できる情報を削除した上で、代わりに識別コードをつけて匿名化された状態で取り扱われます。識別コードは各研究機関内で付与されます。対応表は主たる研究機関（大阪国際がんセンター）に送付されることはなく、各機関の研究責任者が保管・管理します。試料については、匿名化された標本のみが郵送されます。情報については、パスワード設定された USB メモリーが送付されます。

５．研究組織

主たる研究機関及び研究代表者

大阪国際がんセンター	後藤　啓介

共同研究機関及び施設責任者

兵庫県立がんセンター	梶本　和義
静岡県立静岡がんセンター	平木　翼
都立駒込病院	比島　恒和
和歌山県立医科大学附属病院	岩橋　吉史
大阪医療センター	小澤　健太郎
函館中央病院	中里　信一
市立札幌病院	辻　隆裕

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター　病理・細胞診断科　後藤　啓介
住所：〒５４１－８５６７　大阪市中央区大手前３－１－６９
電話：０６－６９４５－１１８１
研究代表者：後藤啓介

----------**以上**